



10月18日 **としょかんまつりで  
目当ての本を品定め**



親子で本の品定めを行う

図書館や家庭で不要になった古本などの交換を行うリサイクルイベント「としょかんまつり」が市文化会館前広場で行われました。事前に古本などを図書館に持ち込んだり、本を借りたりして引換券を入手した市民約300人が来場。会場には絵本や漫画、雑誌など約8千冊が並び、来場者はページをめくるなどしながらじっくりと品定めをしていました。福島小学校1年生の田中慧くんは「折り紙や恐竜図鑑の本が手に入ってよかった。本を読むのが好きなので、たくさん読みたい」と話していました。リサイクルイベントのほか、子ども対象の絵本の読み聞かせや射的などのイベントも実施されました。

10月25日 **大規模災害を想定した総合防災訓練実施**

南海トラフ地震を想定した「令和2年度串間市総合防災訓練」が串間市役所で行われました。訓練は例年、住民をはじめとした自衛隊や警察などの関係団体と連携して行っていますが、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため、今回は市職員のみで実施。訓練では、最大震度6強の地震発生後に災害対策本部を設置し、各班で住民などからの被害の情報提供や避難所関連などの問い合わせに対応して情報を集約し、同本部で対策案の検討などを行い、災害対応の流れを確認しました。



災害対策本部で協議を行う市長ら

10月30日 **串間中1年生が  
「道の駅くしま」オブジェのアイデア発表**



岬馬や幸島の野生猿を題材にした作品を発表する中学生

来年の春にプレオープンを予定している「道の駅くしま」に飾るオブジェのアイデア発表会が串間中学校で行われました。同校1年生の代表が、甘藷などの地元特産品や岬馬などをモチーフにして独創的に考案した作品を発表しました。地域の活性化策などについて学ぶ「くしま学」の授業の一環で7月からアイデアを検討し、今回学年代表5組がプロダクトデザイナーなどの前で紹介。武田歩路さんは「新しく道の駅ができるにあたり串間が生まれ変わるという意味を込めて作成した。アイデアをぜひ生かしてもらえれば」と話していました。今回出されたアイデアを参考に、今後オブジェ制作を進めていきます。

10月15日 **市内の小学5年生がスポーツなどで交流**



グラウンドゴルフの様子

市内の小学校5年生がスポーツなどを通じて交流を深める「串間市ふれあい体験」が市総合運動公園などで行われました。市内9小学校の154人が参加し、グラウンドゴルフなどを楽しみました。

この事業は人間関係づくりやコミュニケーション力を育成するのが目的で開催しており、例年は宮崎市の県青島青少年自然の家で行っていましたが、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策のため今年は市内で開催しました。

同運動公園陸上競技場で行われたグラウンドゴルフでは、6、7人ずつのグループに分かれて6ホールを回ってスコアを競い合い、声を掛け合って楽しむなど学校の垣根を超えて交流していました。

都井小学校5年生の宮原雷斗くんは「力加減が難しく、なかなか思い通りに球が飛ばなかったけど声を掛け合いながらできたので楽しかった。新しい友達もできてよかった」と笑顔で話していました。

その他、市総合体育館や市中央公民館ではプラホビーなどの創作活動、日本赤十字社宮崎県支部による防災講話なども行われました。



防災講話の様子



創作活動・プラホビーの様子



ニュースポーツ・輪投げの様子